

＜委員会基本方針・事業計画＞

| | | | |
|--|-----------|-----------------------|-------|
| 委員会名 | 例会委員会 | | |
| 委員長 | 古賀治基 | | |
| 副委員長 | 古瀬幹祐・秋庭順一 | | |
| 運営幹事 | 城高次・田中陽 | | |
| <p>【基本方針】</p> <p>昨今の例会の出席率の低下の要因としては、不景気と呼ばれるこの現況もありますが仕事を理由に時間を作れず来ることができない人が大半を占めています。しかし会員一人ひとりが「明るい豊かな社会を築きあげよう」という使命感即ち意識が強くあれば、出席率は高くなると考えます。人は、1年は365日、1日は24時間と平等に与えられており、少ない人多い人は誰もいません。例会は年間スケジュールで決まっており、欠席の理由に「時間がない」と言うのは不適切で時間を作れないと言うのが適切です。その原因は作ろうと思う意識が足りないことと、その方法を知らないということではないでしょうか。</p> <p>まずは、会員一人ひとりの意識を変える必要があると考え、例会の場で意識変革に取り組みたいと考えています。意識変革とはいっても容易ではなく、JC運動を進めて行くにあたり基礎的な力、「時間力」「聞く力」「読む力」「書く力」「話す力」「発信する力」をテーマに例会を企画します。第一に「時間力」を身につけて頂くよう取り組みたいと考えています。例会を通じて意識変革と時間を上手に作り出せる方法を学んでもらい、時間を上手にコントロール出来るようになればJCだけでなく仕事・家庭にも活用でき自己の成長へ繋がります。</p> <p>またJC運動は一人では出来ません。多くのメンバーや、地域の人に思いを伝え共感を頂かなければなりません。そのためには、メンバーが結束し一人ひとりが「読む力」「聞く力」で正確な情報を理解し、人に伝える力である「書く力」「話す力」を磨き、「発信する力」を養うことで、真のJAYCEEへと向上し、そのJAYCEEが集うことで、これまで以上に素晴らしい団体へと成長していくはずで、自己に養った力は決してこれから無駄にはならずJCという場だけではなく仕事・家庭でも活かし、変革の能動者として一歩を踏み出しましょう。会員一人ひとりが例会に来てよかったと感じて頂く例会を行います。</p> | | | |
| <p>【事業計画】</p> | | | |
| 番号 | 事業 | 事業の概要 | 実施予定日 |
| 1 | 例会の企画 | 例会の企画運営 | 4回 |
| 2 | 例会の支援 | 例会の支援 | 通年 |
| 3 | 公式訪問例会 | ブロック会長公式訪問例会・地区会長訪問例会 | 2月14日 |
| 4 | 薩長土肥の会 | 薩長土肥の会への参加 | 未定 |
| 5 | 会員拡大 | 拡大目標4名(40名) | 通年 |